

---

# 遥かなる想い ～詩集～

雁野文蔵

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

遥かなる想い　　詩集

### 【Nコード】

N3418S

### 【作者名】

雁野文蔵

### 【あらすじ】

人との巡り会いの中で生まれる様々な想い

そして、願い……

絆が深まることがあれば心の葛藤に苦しむこともある

そついった様々な心情を詩にしてみました

\* 某サイトに投稿した詩を詩集にしたものです

罪深き想いに揺らされて

ねえ、どうして私の前に現れたの？

彼方は私を苦しめるだけなのに何故か惹かれていく  
まるで操られるように……

導かれるように……

これは運命？

必然な出会いだっただの？

どんなに抗っても逃れられない

彼方は私の中に入っていく

もし願いが叶うなら心の鍵を渡して

背負った苦しみを受け止めるから

たとえ許されぬ愛だとしても心は彼方から離れない  
離れられない

彼方の温もりに幸せを感じる

彼方の優しさが私を不幸にさせる

近くて遠い彼方が私の心を縛り続けて逃がさない

独りになりたくても縋れ合う

高鳴る鼓動は抑えきれない

自由に羽ばたこうと藻掻いている

触れて欲しいから

抱きしめて欲しいから

その温もりを感じさせて

一生罪を背負っていくから傍にいて欲しい

もし願いが叶うなら心の鍵を渡して

背負った苦しみを受け止めるから

たとえ許されぬ愛だとしても心は彼方から離れない

離れられない

離れたくない

## 午前零時のプラットホーム

心地よかった彼方の優しさ

触れているだけで幸せを感じていた

思い出のアルバムを捲っていくように

頭に浮かんでくる二人だけの時間<sup>とき</sup>

彼方の部屋から漏れる窓明かり

ただ指輪を外した手をじっと見つめる

もう帰らないと決めたから

別れの言葉を告げずに黙っていくわ

いつかこんな日がくる予感をしていた

彼方の優しさが私を駄目にする

甘えたまままでいられない

だからサヨナラするわ

いつも絶やさない彼方の微笑み

それがもう耐え切れなくなつた

決意が鈍るから探さないで欲しい

もう一緒にはいられないの

駅のホームに舞い落ちるぼたん雪

頬に伝う涙がポツリと落ちる

旅立ちの時が訪れて

もう泣かないって決めたのに目が霞む

いつかこんな日が訪れると恐れていた  
私の気持ちに気がついて欲しかった  
優しいだけじゃ駄目なの  
だからサヨナラするわ

吹きさぶる木枯らしが背を押すように  
最終電車に足が向かう  
流れ落ちる涙を残して  
彼方にサヨナラするわ

AGAIN くあの夏の日のようにく

真夏の日差しが眩しい海岸沿いの道

大空を優雅に舞う海鷗たちに誘われていざな

俺はアクセルを吹かして風を切る

バレンミラーに映るお前の長い黒髪の揺らめき

背中に感じる昂った鼓動と肩に吹きかかる吐息

汗ばんだ胸を押し付けてギュツとしがみ付いていたね

約束の浜辺へと続く道

二人で眺めた夕暮れの太陽

一緒になろうと誓い合った言葉

お前との刻は永遠とぎに続くものだと思っていた

振り返れば

お前がいた

振り返れば

はにかんだ笑顔があつた

誰もいない浜辺

夕暮れの向こうにお前を求めて

独り静かな波を眺めて思いを馳せる

手の平にあるのは俺の想いが詰まった誓いのしるし

今は抜け殻のような悲しい記憶

涙に濡れた指輪が悲しい色に光り輝く

写真の中の笑顔はあの夏の日のまま変わらない

抱きしめた時の温もりを感じるぐらいに

遠き日の記憶の欠片よりも



いつまでも傍にいて欲しかった

もう一度感じたい

お前の温もりを

もう一度抱きしめたい

お前を感じていたいから

二人の思い出の日々は今も色あせず

振り返るといつもお前がいた

あの夏の日のことは今も鮮明に浮かぶ

お前の笑顔から零れ落ちた涙

「幸せになろうね」と言った言葉が何度も聞こえてくるよ

明日へと続く道の中

気がつけばいつもお前を背中に感じていた

タンDEMシートは空けたまま

俺は独りバイクを走らせる

テールランプが行き交う月夜の道を

振り返っても

お前はもういない

振り返っても

お前の幻を追いかけるだけ

二人を引き裂いた運命の交差点

腕の中で消えていくお前の温もりと悲しい笑顔

微笑んで眠っているようだ

震える華奢な手を握り締めた記憶が俺の心をいつまでも苦しめる

お前を呼び止めていれば  
失わずにすんだ

お前を呼び止めていれば  
共に未来を歩めた

二人の時間が戻るのならもう離さない  
「また明日ね」と言ったお前の手を引いて抱きしめよう  
たとえ運命に逆らってもいい  
共に歩む未来を取り戻すためなら

お前に会えるのなら  
俺は何処までも会いに行く

もし天国から連れ戻せるのなら  
俺は羽ばたいて空を駆けるだろう

振り向くとお前がいるのなら  
俺は何処までも走り続けよう

あの夏の日のように

## M a g i c a l   s w e e t s   S u n d e y

L e t '   t r y   張り切っちゃうぞ

今日は大好きな彼の誕生日

いつも通りのデートじゃないの

ありったけの気持ちを込めて   m y   h e a r t

待ち焦がれた約束の日曜日

寝ぼけ眼でエプロン結び<sup>まなこ</sup>

今度は私からお返しのおサプライズ

驚く顔を早く見たいと妄想が膨らむ

でもスイーツなんて作ったことないよ

何からしたらいいのか分かんない

レシピ読んだら頭がグルグル回っちゃう

フラフラ千鳥足でキッチンに立っても

彼のためにと気合をフル回転

N o n   N o n   N o n   N o n   N o n !

バター塗りすぎ砂糖を落とす

暴れて止まんないハンドミキサー

生地は焼きすぎ真っ黒コゲコゲ

ゲンナリ気分でその場にへたり込む

今度は上手く生地が焼けたかな

スポンジケーキが上手く切れない

シロップの量って何グラムなの？  
生クリームが上手く泡立たないよ  
でも出来映えよりも愛情で勝負  
気持ちがいもってこその手作りケーキ  
恋の魔法が手助けをしてくれる  
彼を想いながらラストスパート  
あとは仕上げにイチゴを飾るだけ

N o n N o n N o n N o n !

やっと出来たイチゴのショートケーキ  
出来栄えの悪いショートケーキ  
生クリームまみれの私の姿  
気持ちだけが彼の元へ飛んでいく

L e t ' t r y 張り切っちゃうぞ

今度は私を綺麗にコーディネート  
特別なオシャレは今日だけよ  
最高のラッピングで m y h e a r t

ケーキを家に忘れて取りに帰り  
彼はいつまでも公園で待ちぼうけ  
M a g i c a l h e a r t で巧みに誤魔化し  
私から手を繋ぐわ m y ダーリン

ドキドキ気分で彼を見つめ L o v e h e a r t

今からとっておきの魔法をかけてあげる  
メロメロになってもらうから覚悟してね  
私の手作りイチゴのショートケーキ

H a p p y B i r t h d a y m y ダーリン

イチゴ味のキスに心フワフワ F j y h e a r t

これからもヨロシクね 好き 好き 大好き m y ダーリン

## こもれば

木漏れ日に照らされた並木道

涼やかなそよ風が優しく頬を撫でる

私の傍にはいつも彼方が寄り添ってくれていたね  
肩を寄せ合った温もり

出逢った頃から変わらない微笑み  
いつも私を癒してくれる

ねえ、10年後もこうして歩いてくれる？

いつまでも私の傍から離れないで

心の中で呟いた声が聞こえたかな

幸せなのに時々不安になってしまう

思い出の並木道

未来への並木道

まるで私達への道しるべのよう

苦しいときも

悲しいときも

彼方と一緒にだったから歩めたんだと

温かい木漏れ日が照らす中

小鳥達の囀りが心を和ませてくれる

肩を抱き寄せてきた手に温もりを感じて  
目蓋を閉じて彼方にもたれる私

心のアルバムを開きながら  
胸いっぱいの幸せを噛み締める

ねえ、私が年老いても抱きしめてくれる？  
いつまでも変わらない彼方でいてね  
添い遂げたいという想いは永遠とわに  
彼方とならどんな苦難も乗り越えられるわ

明日への並木道  
どこまでも果てしなく

彼方と私だけの道しるべだね  
辛いときも  
嬉しいときも  
いつも笑顔で傍にいてあげるから

見つめ合う二人に言葉はいらない  
どんな時も  
離れていても  
私の心は彼方の傍にいるから

いつだって彼方を感じているから

## MIDNIGHT FIGHTER

地鳴りのように響く歓声

熱い熱気が俺の歩を進める

客席から見えるお前の不安そうな表情（かお）に  
手を振って応えた

野獣のように向かい合う二人の狼

四角いジャングルを照らすスポットライト

ゴングの鐘が鳴らされて

運命の刻（とき）が訪れる

MIDNIGHT FIGHTER

唸りをあげる俺の拳

MIDNIGHT FIGHTER

飛び散る汗を輝かせて

牙を持つ獣達の刹那

熱い熱気が闘志を掻き立てる

客席から聞こえるお前の悲鳴に似た叫びに  
俺の心が震える

血しぶき舞い散るリング上

己のすべてを賭けた魂の咆哮

お前に誓った言葉と共に



ただひたすら勝利をめざす

MIDNIGHT FIGHTER  
燃え上がる命の炎

MIDNIGHT FIGHTER  
熱い血潮が駆け巡る

MIDNIGHT FIGHTER  
勝利をお前に捧げよう

お前をこの手で抱きしめるために……

## Never Surrender

たとえ独りぼっちになってもみんなが君を見守っている  
悲しみを分かち合おうと支えてくれる  
絶望に沈んでも這い上げて頑張る君を見たい  
懸命に生きようとする君と共に歩んでいきたい

さあ、勇気を出して立ちあがろう  
遠く離れていても心は通じ合っている  
涙を拭って今を精一杯生きよう

Never Surrender 絆は永遠さ

Never Surrender 繋がる心の輪

手を取り合い共に羽ばたこう

明日に向かって羽ばたこう

思い出は色あせることなく決して消えはしない  
目を瞑ればみんなの笑顔が見えるだろう  
大空の向こうから君をいつも見守っている  
想いは明日を生きる糧になるのだから……

さあ、勇気を出して立ちあがろう

愛する人を想うなら齒を食いしばって立ち上がれ  
苦難を乗り越えて今を精一杯生きよう

N e v e r   S u r r e n d e r      挫けない心

N e v e r   S u r r e n d e r      立ち向かう勇気

想いを胸に羽ばたこう

明日に向かって羽ばたこう

君の輝く笑顔をいつまでも見たい

## Angel Wish（前書き）

この『Angel Wish』は某サイトでご活躍されている友野亜紀さんの大ヒット作『Message』をヒントに綴りました。

『Message』の原作者である友野さんに今回の掲載に関しての了承を得て、『Angel Wish』の著作権についても私にあるという言葉を頂戴しています。

それで二次創作には該当しないという判断を下し、今までと同様に某サイトへ投稿したままの状態にさせて頂きました。

これを読んで、もしも『Message』という作品に興味を持って頂けたならば幸いです。

## Angel Wish

もう迷わない

立ち止まってどうするの

ありったけの想いを込めて

ハート型にチヨコを流していく

遠くから眺めるだけじゃイヤ

二の足を踏んでばかりいた自分が情けない

明日は特別な日なんだから

めいっばいの勇気を振り絞って手渡そう

彼と向き合う妄想ばかりが膨らんで

浮かんでくるのは彼の顔ばかり

手袋越しに伝わる温もりを夢見て

気持ちだけが先走る

もう止まらない

動き始めた恋心

私の想いが届けとばかりに

チヨコを可愛くラッピング

明日はいよいよバレンタイン

ちゃんと気持ちを伝えて渡せるかな

なんて今更弱気になってはダメ

意気地なしの自分とはサヨナラするの

枕元に置いた手作りチョコレート  
夢の中ではハッピーエンド  
甘いチョコの味がするキス  
どうかお願い叶って

遠くに見える彼の笑顔  
ドキドキと鼓動が高鳴るばかり  
背中に隠した私の想い  
どうかお願い伝わって

目の前に彼がいる  
神様お願い力を貸して  
想いが詰まった私のチョコ  
どうかお願い受け取って

私の気持ちを受け取って

## Angel Wish（後書き）

とりあえず、この詩をもって完結とさせて頂きました。

あと一作だけ書き残した詩がありますが、それは二次創作に該当する為、こちらには掲載できないからです。

しばらくは小説をメインに活動していきますので、しばらくは詩を綴ることはないと思います。

ですが今後また詩を綴るときがあると思いますので、その際にはまた読んで頂ければ幸いです。

最後までお付き合いしてくださった方々には心からお礼申し上げます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3418s/>

---

遥かなる想い ～詩集～

2011年10月8日23時25分発行